

「態変換」って何？

【目標問題】 次の英文を指示に従って書き直しなさい。

1. My father gave that bag to me. (that bag を主語にして同じ意味となる英文にせよ)

→ 英文を書き換えるワザの一つに「態変換」というものがある！普通の英文を能動態の英文と言い、動詞の部分が“be 動詞＋過去分詞”の形となっている英文を受動態の英文と言う。 能動態の英文に目的語(一般動詞の後ろに来る名詞で「～を」「～に」となる単語)があれば、能動態から受動態に、受動態の英文は能動態に書き換えることができる！

→ 1 の英文の gave に注目すると能動態の英文であることが分かる。直後の that bag は「あの(その)カバンを」という意味なので目的語だと判別できる。よって、受動態に書き換えることが可能だ！書き換え方は…

- ① 目的語を主語にする→That bag …
- ② 一般動詞の時制に注目して be 動詞を決定する→この場合 gave なので過去！よって、That bag was …
- ③ 一般動詞を過去分詞に変える→That bag was given …
- ④ 目的語より後ろの言葉をそのまま書く(但し「時」を表す言葉は文末にする)→That bag was given to me …
- ⑤ by の後ろに主語になるものを入れる(但し代名詞一語であれば目的格とする)→That bag was given to me by my father. 注)be known to, be covered with 等、by 以外を使うケースもある。

2. This desk was used by Shigeru Yoshida in 1951. (同じ意味になる能動態の英文にせよ)

→ 2 の英文の was used に注目すると受動態の英文であることが分かる。よって能動態の英文に書き換えることができる。その書き換え方は…

- ① by+人間(or 物)を探し、by の後ろにある名詞を主語とする！→Shigeru Yoshida …
- ② be 動詞が現在形であれば過去分詞を現在形の動詞に、be 動詞が過去形であれば過去分詞を過去形の動詞にする！→Shigeru Yoshida used …
- ③ 3 番目に受動態の英文で主語になっている語句を書く！
→Shigeru Yoshida used this desk …
- ④ 残っている単語をそのままの語順で書く！→Shigeru Yoshida used this desk in 1951.

3. French is spoken in this island. (同じ意味になる能動態の英文にせよ)

→ 3 の英文の is spoken に注目すると受動態の英文であることが分かる。しかし、by+人間(物)がない！実は受動態で by+人間が省略されるパターンがある。それは、by them, by us, by someone だ！自分がその動作に関係ないと感じれば、基本は by them が省略されていると思え！ちょっと変だが、French is spoken in this island by them.と書いてしまえば、後は 2 の解説と同じやり方でできる！答は They speak French in this island.

4. We can see that building from the top of this hill. (同じ意味になる受動態の英文にせよ)

→ 4 の英文の can see (that building)に注目すると能動態の英文であることが分かる。よって受動態の英文に書き直すことができる！でも、助動詞が入っている！それだけで大混乱する人が多いが、助動詞なんて怖くない！助動詞は動詞の原形の前に入れればいいのだから。基本は 1 の解説のやり方でやれる。助動詞は be 動詞の直前に入れて、be 動詞を原形にすればいい！

答は That building can be seen from the top of this hill.

「あれっ、by us は？」と思った人は 3 の解説を見てごらん！

～「これで君も態変換マスターだ！態変換なんて怖くない！！」～